

まんざい

旭市立萬歳小学校

平成28年10月21日

No.6

《学校教育目標》

つよく おおきく たくましく
ともに高め合う

萬歳っ子の 育成

平成28年度も折り返し地点を過ぎ、子ども達も勉強に運動により一層励んでいます。夏のうだるような暑さから涼しさの中で授業を進めることができ、能率的に学習が進められています。運動面では、体力テストの練習が縦割り班で、計画的に行われています。学年毎に練習したり、1・6年生がペアを組んで体力テストの練習をしている学校は多いように思いますが、縦割りの異年齢集団で体力テストの練習を行っている学校はほとんどないと思います。萬歳小の良さの一つだと思っています。体力テストが終わると11月末の校内マラソン大会に向けての練習が間もなく始まります。だんだん寒くなって体を動かすことが億劫になりがちになってきます。寒さに負けずに体を動かす習慣作りの基礎を育んでいければと思っています。



9月から10月にかけて、6年生は修学旅行、5年生は宿泊体験学習に行ってきました。引率したそれぞれの担任に今回のポイントを書いてもらいました。

修学旅行（6年）

今年度は中和小学校との合同修学旅行となりました。中和小学校との交流では、すぐに打ち解けることができ、とても楽しく過ごすことができました。帰り際、別れを惜しむ姿はとても印象的でした。



班別行動では、それぞれのグループが計画したコースを予定通り進むように、仲間と相談しながら活動することができました。

この2日間、子どもたちにとって自主性を高める良い機会になりました。（6年担任：根本 真衣）

宿泊体験研修（5年）

今年はグラウンドゴルフ、カヌー、野外炊さん、キャンドルファイヤーなど普段の学校生活では体験できない活動を多く行いました。特に野外炊さんでは、事前に栄養教諭



の池田先生に、飯ごうでのご飯の炊き方やカレーの作り方を教わりました。当日は、食材を切る係、釜戸に薪を入れて火を調節する係など、それぞれの役割に分かれてカレーを作りました。みんなで協力しておいしいカレーを作ることができました。

（5年担任：青柳 聡史）

読書の秋を迎えて

月日の経つのは早いもので、すっかり秋も深まってきました。秋は一年の中で最も過ごしやすい季節であり、「食欲の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」と並んで「読書の秋」とも言われています。

昨今、日本では活字離れが顕著になってきていることが様々な調査で指摘されているところです。ある新聞社の調査では、1ヶ月間に本を1冊も読まなかった人が約50%という結果も出ています。読書以外の娯楽があふれていることも一因であると思いますが、この傾向は決して満足すべきものではありません。

平成19年から行われている「全国学力・学習状況調査」の結果、「読書好きな子どもの方が正答率が高い」ことも明らかになってきました。また、知識・理解や思考の能力を高めるほか、一定の時間一つのことに集中する経験の積み重ねが学習に対する集中力の形成にも効果的に働いているものと考えられます。なお、「読書の時間が長いほど正答率が高くなるものではない」「1日数十分の読書でも[ほとんどしない][全くしない]子より正答率が高い」ことも分かってきました。つまり、無理に長時間読まなければならないのではなく、まずは今できる範囲で習慣化する（本好きにする）ことが学力に良い影響を与えるということなのです。時間や内容は徐々に充実させていけば良いと思います。本年度ノーベル医学・生理学賞を受賞した大隅良典氏は、科学を志したきっかけが兄からもらった自然科学の本だったとうかがいました。

読書の秋です。たまにはテレビのスイッチを切って、親子あるいは家族いっしょに読書を楽しまれてはいかがでしょうか。

（校長：木村 仁）

萬歳小学校図書館の紹介

今年は、10月27日から11月9日までの文化の日を中心にした2週間が読書週間とのことです。一般公募で標語が募集されており、今年度は「いざ、読書。」に決まったそうです。

何気なく入った本屋でタイトルや表紙の絵、本の腰帯に惹かれて買うこともありますね。「いざ」ということばには本を読み始める際のある種の決意のようなものを感じさせますね。

さて、本校の図書室は優良図書室（学校図書館自己評価表に基づきある一定点数以上の図書室）に認定されています。また、本年度から学校図書館司書の萩原 遼さんが毎週木曜日に萬歳小に来てくれて、図書室の本の整とんだけでなく図書室の環境を整えてくれたり昼休みには、読み聞かせなども行ってくれたりしています。さらに、学級の要望に応じて図書館指導もしてくれています。

今月の本のお薦めコーナーでは、「ドラゴンの正しいしつけ方」「ライオンと魔女」「しつれいですが、魔女さんですか」などのハロウィーンにちなんだ本や低中学年に人気の「わかったさん」シリーズが紹介されていました。また、自然災害が多かったことも関連してか、「理科室が火事だ どうなる?」「トミジの海」「噴火、地震、津波」といった本もピックアップされていました。

また、読書活動の活性化を目指して本年度は、全員がそれぞれ読んだ本の中から推薦図書を選び、簡単な感想を含む紹介文を添えてそれを3階の廊下に掲示し、読んだことのある本にはシールを貼ってみんなで推薦したり校内放送や図書館だよりで紹介したりしていく予定です。

P.T.A.の専門部の一つに母親読書部があります。11月から12月にかけて読み聞かせを例年行ってくれています。こうした活動も読書好きな子どもの育成に一役かってくれています。この秋、素敵な1冊の本を読んでみませんか。

参考までに＜2016 上半期ベストセラー＞

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1 天才 | 石原慎太郎 | 幻冬舎 |
| 2 おやすみ、ロジャー | 魔法のぐっすり絵本 | |
| | カール＝ヨハン・エリー | |
| | 三橋美穂監訳 | 飛鳥新社 |
| 3 羊と鋼の森 | 宮下奈都 | 文藝春秋 |
| 4 君の隣をたべたい | 住野よる | 双葉社 |
| 5 火花 | 又吉直樹 | 文藝春秋 |
| | | (日販調べ) |



食育授業研究会

本校は、本年度千葉県教育委員会から「地域における食育推進事業」の指定を受け、11月15日(火)に食育の授業を公開する予定です。当日は、近隣の学校栄養教諭をはじめ各校の食育担当者が授業を参観し、研究協議に参加する予定となっております。

食育という言葉は最近よく耳にすると思います。また、栄養教諭というあまり聞き慣れない職名の職員も本校に在籍しています。食育という言葉が法に登場したのが2005年の食育基本法であり、また栄養教諭が法制化されたのも同年です。この背景には、食に関するさまざまな問題点が指摘され、ただ単に平均寿命が長くなっていく長寿社会をめざすのではなく、健康寿命を長くしていこうという発想に基づいているように思います。よくテレビなどで80代、90代の方が年齢を感じさせないようなスポーツをしているのもよく目にします。



その食育の基盤となるのが小学校期における学習であり、特に体験を通しての実感が大切になってくると思います。学校の給食は、1日に1回なので、あと2回の家庭の食生活との関連を図りながら食育を進めていくことが大切であると思います。この度の食育の公開授業だけにとどまらずこれからもいろいろな学習場面、機会をとおして食育を進めていくこととなりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

＜食育で出てくる用語＞

- ・個食：個々に違うものを食べること。
- ・孤食：一人で食事をする事。
- ・中食：従来の内食(家庭料理)と外食の間に生じた食のスタイル。コンビニエンスストアやスーパー、デパ地下などの弁当・惣菜などテイクアウト料理全般を買って来て家で食べる事。
- ・共食：家族や友人などと一緒に食事を楽しむこと。



＜あとがき＞

「〇〇の秋」に関連して旅、読書、食を取り上げてみました。これにスポーツが加われば、バランスのよい健康な生活が送れそうですね。